

# 業 務 仕 様 書

## 1 委託する業務の発注者、名称及び概要

### (1) 発注者

広島県立世羅高等学校長

### (2) 業務の名称

広島県立世羅高等学校寄宿舎食堂調理等業務

### (3) 委託の概要

委託する業務は、広島県立世羅高等学校寄宿舎である「冀北寮」及び「優駿寮」（以下「寄宿舎」という。）に入寮する生徒及び関係職員に対する食事提供とこれに付帯する業務とする。

冀北寮で全食数を調理し、優駿寮に運搬する。

## 2 業務委託対象地

(1) 世羅郡世羅町本郷 1142-1 広島県立世羅高等学校冀北寮（男子寮）

(2) 世羅郡世羅町甲山 267 広島県立世羅高等学校優駿寮（女子寮）

別紙「業務実施箇所」のとおり

## 3 業務の内容

### (1) 調理等業務

- ア 献立の作成
- イ 材料の発注及び検収
- ウ 下処理・調理・運搬・提供
- エ 検食、保存食（原材料及び調理済み食品）管理
- オ その他、食堂調理に係る業務

### (2) 衛生管理業務

- ア 食器及び食器具の洗浄・消毒保管
- イ 厨房機器・什器備品の適正管理
- ウ 食品衛生の確保及び食中毒の発生防止措置
- エ 業務に関連する生ゴミ及び廃油の処理、グリストラップ内の浮遊物及び固着物の処理（年に1～2回程度専門業者によるグリストラップ清掃を発注者負担で実施するが、日常的・定期的な清掃すること。）
- オ 厨房の日常清掃及び定期清掃（年3回）
- カ 衛生害虫の発生予防

## 4 業務履行日、提供する食事及び提供時間

### (1) 業務履行日

令和8年4月1日から令和11年3月31日までの間で、閉寮日等、発注者が別に定めた日を除いた日とする。（年間業務予定日数約340日）

### (2) 提供する食事

- ア 食事提供は、業務履行日の朝食及び夕食とする。
- イ 発注者は、前月の 25 日までに受託者へ概ねの必要食数を報告する。
- ウ 食事提供人数

寄宿舍	寮生人数（R7.5.1 現在）	関係職員数	合計
冀北寮	45 人	1 人	46 人
優駿寮	9 人	1 人	10 人

注 上記人数については見込みであり、変更することがある。

### （3）食事の提供時間

- ア 朝食 7：00 ～ 7：30
- イ 夕食 18：30 ～ 19：00

注 上記時間は変更することがあり、発注者が予め指定した時間変更に対応が可能であること。  
また、大会等で食事時間が変わることもあるが対応すること。（全体ではなく、一部生徒のみ食事時間が変わることもあるので対応すること。）

## 5 業務委託の条件等

### （1）献立内容

- ア 「日本人の食事摂取基準（2025 年版）」に基づき、高校生に必要なエネルギー（熱量）及び栄養素を満たす献立を作成すること。本業務対象の寄宿舍は健康増進法に定める特定給食施設ではないが、健康増進法施行規則第 9 条の栄養管理基準に準じて、献立作成、品質管理、利用者への情報提供等を行うこと。  
また、当該寮生はアスリートであり、運動量が多い高校生であるということを考慮し、随時発注者と協議すること。
- イ できる限り生鮮食品及び県内産の農産物を利用し、地元業者を活用する等地産地消に努めること。また、冷凍食品及びレトルト食品の使用制限に努めること。
- ウ 季節、週ごとにメニューを変えること。
- エ 発注者の求めに応じて、食物アレルギーを有する者への食事提供に対応すること。
- オ 広島県夏の食中毒予防期間中は、特に食材に配慮すること。
- カ 実施月の前月 25 日までに翌月の献立表を発注者に提出すること。
- キ 部活動の大会前等は、発注者が指定した献立の変更に対応すること。
- ク 差し入れされた食品を利用し、場合によっては献立の変更に対応すること。
- ケ 受託者が献立表を提出後に、内容の変更を申し出る場合は、変更後の献立及び変更の理由を文書で発注者に提出し承諾を得ること。なお、食事調理等業務に支障をきたさないようにすること。

### （2）食材料費

1 食当たりの単価は、次のとおりとする。

- ア 朝食 350 円（消費税及び地方消費税込み）
- イ 夕食 700 円（消費税及び地方消費税込み）

注 1 上記金額は、物価の変動により変更することがある。その場合、受託者は変更内容を書面で提示し、双方で協議すること。

注 2 食材料費は、全て食材の購入に使用するものとする。

注3 発注者は、食材料費が全て食材の購入に使用されているかを確認できるものとし、このため、受託者は購入した食材をどの献立に使ったのかが分かる資料を準備するなど、発注者が提示及び説明を求めた場合にはこれに応じなければならない。

注4 発注者は対象生徒及び関係職員から徴収した食材費を取りまとめて受託者へ直接支払うものとする。

### (3) 衛生管理

- ア 食堂内及び食堂外は常に清潔に保ち、飲食材料等が蠅、鼠及びゴキブリ等により汚染されることのないよう留意すること。
- イ 食器類等は、使用の都度消毒を行い、衛生に努めること。
- ウ 食堂調理業務従事者については、予め健康診断及び腸内細菌検査を受け、適当と認めた者を従事させ、以後、年1回の健康診断と月1回以上の腸内細菌検査を受けること。
- エ 食品衛生管理上、業務に支障をきたさない者を就業させること。
- オ 食堂調理業務従事者は、清潔な制服を着用し、作業の前後に必ず消毒すること。
- カ 野菜くず、残飯及び残菜その他の汚物等は遅滞なく処理し、みだりに放置しないこと。
- キ 運搬車両は常に清潔を保つこと。
- ク 大量調理施設衛生管理マニュアル（平成29年6月16日厚生労働省医薬・生活衛生局生活衛生・食品安全部長通知）に沿った衛生管理を行うこと。
- ケ 文部科学省及び広島県で定める学校給食に関する日常点検を点検表で行い、1か月分をまとめて発注者に提出すること。
- コ その他衛生保持のため、必要な事項を行うこと。

### (4) 管理等

- ア 献立の作成に当たって、管理栄養士が行うこと。
- イ 食中毒等の保険に加入していること。
- ウ 食堂調理業務従事者のうち1名は栄養士又は、調理師の資格を有する者であること。
- エ 業務実施のため栄養士又は、調理師資格を有する食事調理業務従事者から業務責任者を選任すること。

### (5) 火災予防

火災が発生することのないよう、火気について細心の注意を払うこと。

### (6) その他

保存食1食分（原材料及び調理済み食品）を2週間－20℃以下で保存することとし、記録管理を適切に行うこと。（保存食に係る経費は全て受託者の負担とする。）

## 6 業務委託に伴う経費負担

発注者（公費）	寮生等	受託者
<ul style="list-style-type: none"> <li>・業務委託料</li> <li>・調理用具 （消耗品を除く）</li> <li>・厨房用機器</li> <li>・上記厨房用機器に係る消耗部品</li> <li>・食堂の備品</li> <li>・衛生害虫駆除費</li> <li>・施設維持管理費</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食材料費</li> <li>・光熱水費</li> <li>・食器類</li> <li>・残飯用ゴミ袋</li> <li>・布巾等漂白剤</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保健衛生費 （検便手数料、健康診断、クリーニング、救急薬品、消毒薬（手指、調理用具等）、盛付手袋等）</li> <li>・洗剤、厨房の日常清掃及び定期清掃に係る経費 （手袋、食器洗浄用洗剤、布巾、消毒薬等）</li> <li>・検食、保存食材料費 （原材料及び調理済み食品）</li> <li>・消耗品費 （保存食用保存袋、タオル、ペーパータオル等（発注者又は寮生等が負担する以外のもの））</li> <li>・運搬費（寄宿舍（優駿寮）への食事運搬分を含む。） （運搬車両及び車両に係る経費）</li> <li>・食堂調理等業務に係る人件費 （給与、社会保険料、福利厚生費等）</li> <li>・被服費 （作業着（夏・冬）、帽子、エプロン、長靴等）</li> <li>・事務用品 （筆記用具、FAX用紙等）</li> <li>・業務連絡費 （安全衛生巡視、通信費、従業員教育費等）</li> <li>・諸雑費 （関係機関事務手数料等）</li> <li>・「大量調理施設衛生管理マニュアル」（平成 29 年 6 月 16 日厚生労働省医薬・生活衛生局生活衛生・食品安全部長通知）に沿った衛生管理に係る経費</li> </ul>

## 7 関係書類及び報告書の提出

受託者は、次の報告書等（様式自由）を作成し、提出すること。また、内容に変更があった場合は速やかに報告するとともに、書類を提出すること。

書類	記載内容・添付書類等	提出期限
食堂調理等業務従事者名簿	業務責任者及び業務従事者の氏名、生年月日、資格、経験年数、担当業務等 ※業務責任者については、栄養士又は調理師の資格を有する業務従事者から選任すること。  【添付書類】 ①献立を作成する者にあつては、管理栄養士資格者証の写し及び雇用関係が分かるもの（雇用者保険証の写し等） ②業務従事者のうち、栄養士又は調理師の資格を有する者にあつては、栄養士免許証又は調理師免許証の写し及び雇用関係が分かるもの、栄養士又は調理師の資格を有しない者にあつては、雇用関係が分かるもの（雇用者保険証の写し等）	業務実施前まで
緊急連絡対応表	緊急時の連絡先や対応フローをまとめたもの	業務実施前まで
食中毒保険に加入していることが分かるもの	保険証書の写し等	業務実施前まで
献立表		実施月の前月の25日まで
業務完了報告書	学校指定様式	実施月の翌月の10日まで
業務委託請求書	学校指定様式	実施月の翌月の10日まで
食材料費請求書		実施月の翌月の10日まで
食数報告書	寄宿舍ごとの朝食・夕食の食数報告	実施月の翌月の10日まで
健康診断及び腸内細菌検査結果報告書		実施月の翌月の10日まで
食材料費を他の経費に使用しない旨の誓約書		契約締結時
食材料費に係る経理書類		発注者が提出を求めた場合

## 8 特記事項

### (1) 施設等の使用

- ア 受託者は、委託業務に必要な施設及び物品を無償で使用するものとする。
- イ 共用施設及び供用物品の全部又は一部に滅失等の損害を与えた場合は、直ちに発注者に報告し、発注者の指示に従うこと。
- ウ 上記の施設及び物品の滅失等の損害が、受託者の故意又は過失による場合は、受託者はその責任においてこれを現状に復し、又は現状に復するために要する経費を賠償すること。

### (2) 食中毒等の防止

- ア 業務の実施に当たっては、食中毒又は感染症（以下「食中毒等」という。）が発生することがないように細心の注意を払うこと。
- イ 業務の実施に当たって、食中毒等が発生した場合には、速やかに適切な処置を講ずるとともに、発注者にその旨を報告すること。

### (3) 法令等の遵守

委託業務を実施するに当たり、食品衛生法、その他関係法令及び、発注者が定める寄宿舍規則を遵守すること。

### (4) その他

- ア 食材等の仕入れその他委託業務実施上の商取引は、一切受託者の名義を持って行うこと。
- イ 受託者は、次の業者が決定した場合には、委託期間の終期（業務委託契約約款の規定により契約期間の短縮又は契約の解除を行った場合はその終期。以下この項において同じ。）までに受託者の所有に係る物件を撤去するとともに、委託期間の終期までに次の業者に引継ぎを行うこと。
- ウ その他、本仕様書に記載のない事項については、発注者及び受託者で協議し決定する。
- エ 本業務の実施過程で知り得た秘密を第三者に漏洩してはならない。また、その職を退いた後も同様とする。